

事務報告 1

平成29年度岩手県立高等学校入学者選抜実施概要について

No	学校名	学科名	定員	推薦入学者選抜				一般入学者選抜										備考	
				実施の有無	応募資格	募集定員		面接方法	選抜順序・割合(%)			小論文又は作文、適性検査の有無		面接、小論文・作文、適性検査の配点			傾斜配点の有無とその内容		
						%	人		学力検査・調査書・面接等 A=5:5 B=3:7 C=7:3	I	II	III	小論文 作文	適性 検査	面接	小論文 作文			適性 検査
1	盛岡第一	普通・理数	280	有	A	10	28	○	A70	C30				60					＜くり募集
2	盛岡第二	普通	200	有	A	10	20	○	A70	B20	C10			60					
3	盛岡第三	普通	280	有	A	10	28	○	A70	B10	C20			60					
4	盛岡第四	普通	280	有	A	10	28	○	A100					60					
5	盛岡北	普通	240	有	A	10	24	○	A70	B20	C10			60					
6	盛岡南	普通	160	有	A	10	16	○	A70	B20	C10			60					
		体育コース	40	有	A	50	20	○	A70	B30			実技	40	20				
		体育	40	有	A	50	20	○	A70	B30			実技	40	20				
7	不來方	人文・理数	160	有	A	10	16	○	A70	B20	C10			60					
		芸術	40	有	A	40	16	○	A70	B30			実技	10	50				
		外国語	40	有	A	10	4	○	A70	B20	C10			60			英語2倍		
		体育	40	有	A	50	20	○	A70	B30			実技	30	30				
8	盛岡農業	動物科学	40	有	AB	10	4	○	A70	C20	B10			60					
		植物科学	40	有	AB	10	4	○	A70	C20	B10			60					
		食品科学	40	有	AB	10	4	○	A70	C20	B10			60					
		人間科学	40	有	AB	10	4	○	A70	C20	B10			60					
		環境科学	40	有	AB	10	4	○	A70	C20	B10			60					
9	盛岡工業	機械	40	有	A	10	4	○	A70	B20	C10			60					
		電気	40	有	A	10	4	○	A70	B20	C10			60					
		電子情報	40	有	A	10	4	○	A70	B20	C10			60					
		電子機械	40	有	A	10	4	○	A70	B20	C10			60					
		工業化学	40	有	A	10	4	○	A70	B20	C10			60					
		土木	40	有	A	10	4	○	A70	B20	C10			60					
		建築・デザイン	40	有	A	10	4	○	A70	B20	C10			60					
10	盛岡商業	流通ビジネス	80	有	A	10	8	○	A70	C20	B10			60					
		会計ビジネス	80	有	A	10	8	○	A70	C20	B10			60					
		情報ビジネス	80	有	A	10	8	○	A70	C20	B10			60					
11	沼宮内	普通	80	有	A	10	8	○	A100				60						
12	葛巻	普通	80	有	A	10	8	○	A100				60				※1		
13	平館	普通	80	有	A	10	8	○	A70	B30			60						
		家政科学	40	有	A	10	4	○	A70	B30			60						
14	雫石	普通	80	有	A	10	8	○	A70	B20	C10			60					
15	紫波総合	総合	200	有	A	10	20	○	A70	B20	C10			60					
16	花巻北	普通	240	有	A	10	24	○	A70	C20	B10			60					
17	花巻南	普通	120	有	A	10	12	○	A70	C30			60						
		スポーツ健康科学	40	有	A	50	20	○	A70	B30			実技	30	30				
		国際科学	40	有	A	10	4	○	A70	C30			60			英語2倍			
18	花巻農業	生物科学	40	有	AB	10	4	○	A100				60						
		環境科学	40	有	AB	10	4	○	A100				60						
		食農科学	40	有	AB	10	4	○	A100				60						
19	花北青雲	情報工学	40	有	A	10	4	○	A70	B30			60						
		ビジネス情報	80	有	A	10	8	○	A70	B30			60						
		総合生活	40	有	A	10	4	○	A70	B30			60						
20	大迫	普通	40	有	A	10	4	○	A70	B10	C20			60					
21	黒沢尻北	普通	240	有	A	10	24	○	A100				60						
22	北上翔南	総合	240	有	A	10	24	○	A70	B30			60						
23	黒沢尻工業	機械	40	有	A	10	4	○	A70	B20	C10			60				数学2倍	
		電気	40	有	A	10	4	○	A70	B20	C10			60				数学2倍	
		電子	40	有	A	10	4	○	A70	B20	C10			60				数学2倍	
		電子機械	40	有	A	10	4	○	A70	B20	C10			60				数学2倍	
		土木	40	有	A	10	4	○	A70	B20	C10			60				数学2倍	
		材料技術	40	有	A	10	4	○	A70	B20	C10			60				数学2倍	
24	西和賀	普通	40	有	A	10	4	○	A100				60						
		福祉・情報コース	40	有	A	10	4	○	A100				60						
25	水沢	普通・理数	240	有	A	10	24	○	A70	B20	C10			60				＜くり募集	
26	水沢農業	農業科学	40	有	AB	10	4	○	A70	B20	C10			60					
		環境工学	40	有	AB	10	4	○	A70	B20	C10			60					
		生活科学	40	有	AB	10	4	○	A70	B20	C10			60					
27	水沢工業	機械	40	有	A	10	4	○	A100				60						
		電気	40	有	A	10	4	○	A100				60						
		設備システム	40	有	A	10	4	○	A100				60						
		インテリア	40	有	A	10	4	○	A100				60						

No	学校名	学科名	学系・コース	定員	推薦入学者選抜				一般入学者選抜										備考		
					実施の有無	応募資格	募集定員		面接方法	選抜順序・割合(%)			小論文又は作文、適性検査の有無		面接、小論文・作文、適性検査の配点			傾斜配点の有無とその内容			
							%	人		個人	集团	I	II	III	小論文 作文	適性 検査	面接			小論文 作文	適性 検査
							A	B													
28	水沢商業	商業		40	有	A	10	4		○	A70	B20	C10			60					
		会計ビジネス		40	有	A	10	4		○	A70	B20	C10			60					
		情報システム		40	有	A	10	4		○	A70	B20	C10			60					
29	前沢	普通		80	有	A	10	8		○	A100					60					
30	金ヶ崎	普通		120	有	A	10	12		○	A70	C20	B10			60					
31	岩谷堂	総合		200	有	A	10	20		○	A70	B20	C10			60					
32	一関第一	普通・理数		240	有	A	10	24		○	A70	B20	C10			60				<<り募集 ※2	
33	一関第二	総合		240	有	A	10	24		○	A70	B20	C10			60					
34	一関工業	電気		40	有	A	10	4		○	A70	B10	C20			60					
		電子		40	有	A	10	4		○	A70	B10	C20			60					
		電子機械		40	有	A	10	4		○	A70	B10	C20			60					
		土木		40	有	A	10	4		○	A70	B10	C20			60					
35	花泉	普通		40	有	A	10	4		○	A70	B10	C20			60					
36	大東	普通		120	有	A	10	12		○	A100					60					
		情報ビジネス		40	有	AB	10	4		○	A100					60					
37	千厩	普通		120	有	A	10	12		○	A70	B10	C20			60					
		生産技術		40	有	AB	10	4		○	A70	B10	C20			60					
		産業技術		40	有	AB	10	4		○	A70	B10	C20			60					
38	高田	普通		160	有	A	10	16		○	A100					60					
		海洋システム		40	有	A	10	4		○	A100					60					
39	大船渡	普通		200	有	A	10	20		○	A100					60					
40	大船渡東	農芸科学		40	有	AB	10	4		○	A100					60					
		機械		40	有	AB	10	4		○	A100					60					
		電気電子		40	有	AB	10	4		○	A100					60					
		情報処理		40	有	AB	10	4		○	A100					60					
		食物文化		40	有	AB	10	4		○	A100					60					
41	住田	普通		40	有	A	10	4		○	A70	B20	C10			60					
42	釜石	普通・理数		200	有	A	10	20		○	A70	C30				60				<<り募集	
43	釜石商工	機械・電子機械		80	有	A	10	8		○	A70	B20	C10			60				<<り募集	
		電気電子		40	有	A	10	4		○	A70	B20	C10			60					
		総合情報		80	有	A	10	8		○	A70	B20	C10			60					
44	遠野	普通		160	有	A	10	16		○	A70	B30				60					
45	遠野緑峰	生産技術		40	有	AB	10	4		○	A70	B30				60					
		情報処理		40	有	AB	10	4		○	A70	B30				60					
46	大槌	普通		80	有	A	10	8		○	A70	B20	C10			60					
47	山田	普通		80	有	A	10	8		○	A100					60					
48	宮古	普通		240	有	A	10	24		○	A100					60					
49	宮古北	普通		40	有	A	10	4		○	A100					60					
50	宮古工業	機械		40	有	AB	10	4		○	A100					60					
		電気電子		40	有	AB	10	4		○	A100					60					
		建築設備		40	有	AB	10	4		○	A100					60					
51	宮古商業	商業		40	有	A	10	4		○	A70	C20	B10			60					
		会計		40	有	A	10	4		○	A70	C20	B10			60					
		流通経済		40	有	A	10	4		○	A70	C20	B10			60					
		情報		40	有	A	10	4		○	A70	C20	B10			60					
52	宮古水産	海洋技術		40	有	AB	10	4		○	A100					60					
		食品家政		40	有	AB	10	4		○	A100					60					
		食物		40	有	AB	10	4		○	A100					60					
53	岩泉	普通		80	有	AB	10	8		○	A70	B20	C10			60					
54	久慈	普通		200	有	A	10	20		○	A70	B10	C20			60					
55	久慈東	総合		200	有	A	10	20		○	A100					60					
56	久慈工業	電子機械		40	有	A	10	4		○	A70	C30				60					
		建設環境		40	有	A	10	4		○	A70	C30				60					
57	種市	普通		80	有	A	10	8		○	A100					60					
		海洋開発		40	有	B	10	4		○	A100					60					
58	大野	普通		80	有	A	10	8		○	A100					60					
59	軽米	普通		80	有	A	10	8		○	A70	B20	C10			60				※1	
60	伊保内	普通		40	有	AB	10	4		○	A100					60					
61	福岡	普通		200	有	A	10	20		○	A70	B20	C10			60					
62	福岡工業	機械システム		40	有	AB	10	4		○	A100					60					
		電気情報システム		40	有	AB	10	4		○	A100					60					
63	一戸	総合		120	有	A	10	12		○	A100					60					

No	学校名	学 科 名		定員	推薦入学者選抜実施の有無	一般入学者選抜											定時制課程成人枠					備考		
						面接方法		選抜順序・割合(%)			小論文又は作文、適性検査の有無		面接、小論文・作文、適性検査の配点			傾斜配点の有無	面接方法		作文・小論文	適性検査の有無	面接、作文・小論文、適性検査の配点			
								学力検査・調査書・面接等	A=5:5	B=3:7	C=7:3	小論文	適性検査	面接	小論文						適性検査		個人	集団
						個人	集団	I	II	III	小論文	適性検査	面接	小論文	適性検査	個人	集団	面接	作文	適性検査				
定1	杜陵	普通	1・2部	80	無	○		A70	B20	C10			60			○		作文		60	40		※3	
			3部	20	無	○		A70	B20	C10			60			○		作文		60	40			
			杜陵奥州	普通	昼間部	30	無	○		A70	C20	B10			60			○		作文		60		40
	普通	夜間部	30	無	○		A70	C20	B10			60			○		作文		60	40				
定2	盛岡工業	工業		40	無	○		A70	B20	C10			60			○		作文		50	50			
定3	一関第一	普通		40	無	○		A100					60			○		作文		100	100			
定4	大船渡	普通		40	無	○		A100					60			○		作文		150	100			
定5	釜石	普通		40	無	○		A100					60			○		作文		100	50			
定6	宮古	普通		40	無	○		A100					60			○		作文		100	100			
定7	久慈長内	普通	昼間部	40	無	○		A70	B20	C10			60			○		作文		100	50			
			夜間部	40	無	○		A70	B20	C10			60			○		作文		100	50			
定8	福岡	普通		40	無	○		A100					60			○		作文		50	50			

注 この表中の定員は、「岩手県立高等学校の管理運営に関する規則」第3条第2項の規定により、志願者数(調整後)によっては、減ずることがある。

No.1～No.63は全日制課程、定1～定8は定時制課程である。

※1 定員には、連携型合格者数を含めるものとする。

※2 定員には、併設型中学校からの入学決定者数を含め、学区外最大入学者数は40人とする。

※3 定員は前期日程の定員であり、このほか後期日程の定員は、1・2部40人、3部20人である。

※4 定員は前期日程の定員であり、このほか後期日程の定員は、昼間部10人、夜間部10人である。

事務報告 2

平成29年度岩手県立特別支援学校高等部の学級数等について

1 学級設置の基本的考え方

障がいのある児童生徒に一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を行い、望ましい成長発達を促すとともに、社会参加と自立を図るため、教育諸条件を整える。

2 学級数の取扱い

県立特別支援学校高等部の在籍数及び入学希望見込みの増減等を勘案し、毎年度調整するものとする。

◆ 平成29年度学級数調整における内部検討の考え方

- 各学校の在籍数及び入学希望見込み数の状況を把握し検討する。
- 各学校の状況を考慮しながら、通常学級及び重複障害学級の定員の基準をもとに検討する。
- 教員配置や施設設備等の観点を考慮し検討する。

3 学級の増減

学校名	科・学級	29年度	28年度	備考
花巻清風支援学校	普通科・通常学級	5 学級 (定員 40名)	4 学級 (定員 32名)	1学級増
気仙光陵支援学校	普通科・通常学級	1 学級 (定員 8名)	2 学級 (定員 16名)	1学級減
宮古恵風支援学校	普通科・通常学級	1 学級 (定員 8名)	2 学級 (定員 16名)	1学級減
盛岡みたけ支援学校	普通科・重複障害学級	5 学級 (定員 15名)	4 学級 (定員 12名)	1～3年を通じた学級 1学級増
花巻清風支援学校	普通科・重複障害学級	5 学級 (定員 15名)	4 学級 (定員 12名)	1～3年を通じた学級 1学級増
前沢明峰支援学校	普通科・重複障害学級	3 学級 (定員 9名)	4 学級 (定員 12名)	1～3年を通じた学級 1学級減
一関清明支援学校	普通科・重複障害学級	4 学級 (定員 12名)	3 学級 (定員 9名)	1～3年を通じた学級 1学級増
宮古恵風支援学校	普通科・重複障害学級	3 学級 (定員 9名)	2 学級 (定員 6名)	1～3年を通じた学級 1学級増

<参考>

平成29年度の県立特別支援学校高等部募集定員・学級（訪問教育を除く）は以下のとおりとなる。

	平成29年度		平成28年度		平成27年度		平成26年度	
	学級数	募集定員	学級数	募集定員	学級数	募集定員	学級数	募集定員
通常学級	35	280名	36	288名	33	264名	34	272名
重複障害学級	38	114名	35	105名	30	90名	29	87名
合計	73	394名	71	393名	63	354名	63	359名

※ 通常学級は、1学級8名定員を基準とする。

※ 重複障害学級は、1学級3名定員を基準とする。また、知的障がい等の学級は1～3年を通じた学級である。

〈資料〉

平成29年度岩手県立特別支援学校高等部の学級数について

対応障がい	学校名	部	学科	学級数・人数		備考	
視覚障がい	盛岡視覚支援学校	高等部	普通科	通常 1学級	8		
			保健医療科	通常 1学級	8		
		専攻科	保健医療科	通常 1学級	8		
			理療科	通常 1学級	8		
聴覚障がい	盛岡聴覚支援学校	高等部	普通科	通常 1学級	8		
			産業技術科	通常 1学級	8		
		専攻科	産業技術科	通常 1学級	8		
知的障がい	盛岡峰南高等支援学校	高等部	生活科学科	通常 4学級	32		
			農産技術科				
			加工生産科				
			流通・サービス科				
	盛岡みたけ支援学校	高等部	普通科	通常 4学級	32		重複学級 1学級増
				重複 5学級 ※	15		
二戸分教室			普通科	通常 1学級	8		
				重複 1学級 ※	3		
知的障がい・肢体不自由	花巻清風支援学校	高等部	普通科	通常 5学級	40	通常学級 1学級増	
				重複 5学級 ※	15	重複学級 1学級増	
	前沢明峰支援学校	高等部	普通科	通常 3学級	24	重複学級 1学級減	
				重複 3学級 ※	9		
	気仙光陵支援学校	高等部	普通科	通常 1学級	8	通常学級 1学級減	
				重複 3学級 ※	9		
宮古恵風支援学校	高等部	普通科	通常 1学級	8	通常学級 1学級減		
			重複 3学級 ※	9	重複学級 1学級増		
久慈拓陽支援学校	高等部	普通科	通常 2学級	16			
			重複 2学級 ※	6			
肢体不自由	盛岡となん支援学校	高等部	普通科	通常 1学級	8		
				重複 3学級	9		
分教室			普通科	通常 1学級	3		
				重複 1学級	3		
病弱	盛岡青松支援学校	高等部	普通科	通常 1学級	8		
				重複 2学級	6		
				重複 1学級 ※	3		
自が病弱・肢体的不障	一関清明支援学校	高等部	普通科(知的)	通常 3学級	24	重複学級 1学級増	
			普通科(病・肢)	通常 1学級	8		
			普通科	重複 4学級 ※	12		
			普通科	重複 1学級	3		
分教室	あすなろ		普通科	通常 1学級	3		
				重複 1学級 ※	3		
				通常 1学級	8		
				重複 1学級 ※	3		
釜石祥雲支援学校	高等部	普通科	通常 1学級	8			
			重複 1学級 ※	3			
しゃくなげ			普通科	通常 1学級	3		
				重複 1学級	3		
ハ訪問教育	盛岡となん支援学校	高等部	普通科	※	6		
	盛岡みたけ支援学校		普通科	※	3		
	花巻清風支援学校		普通科	※	6		
	前沢明峰支援学校		普通科	※	3		
	気仙光陵支援学校		普通科	※	3		
	釜石祥雲支援学校		普通科	※	3		
	宮古恵風支援学校		普通科	※	3		
	久慈拓陽支援学校		普通科	※	3		

※は1～3学年を通じた人数として示している。

事務報告 3

第71回国民体育大会の結果について

	冬季大会	本大会
1 期日	【スケート・アイスホッケー】 平成28年1月27日～31日 【スキー】 平成28年2月20日～23日	【本大会】 平成28年10月1日～11日 【会期前競技(水泳)】 平成28年9月4日～11日
2 会場(正式競技)	県内 4市	県内 12市、9町(含岩泉)、3村
3 参加人員		
(1) 全体	3,470人(選手・監督・本部役員)	22,934人(選手・監督・本部役員)
(2) 本県選手団	158人(選手・監督・本部役員)	933人(選手・監督・本部役員)

4 成績(冬季大会から本大会までの累計)

(1) 男女総合成績(天皇杯)

2位 1,924点 (昨年:16位 1,099点)

(2) 女子総合成績(皇后杯)

2位 981点 (昨年:16位 598点)

(3) 総合成績で上位入賞した都道府県

天皇杯		
順位	都道府県	得点
1	東京都	2,532.5
2	岩手県	1,924
3	埼玉県	1,893
4	愛知県	1,777.5
5	千葉県	1,676
6	大阪府	1,642
7	愛媛県	1,531
8	神奈川県	1,520

皇后杯		
順位	都道府県	得点
1	東京都	1,322.5
2	岩手県	981
3	愛知県	979
4	埼玉県	970
5	愛媛県	968
6	大阪府	951
7	千葉県	919
8	京都府	790.5

(4) 天皇杯得点獲得競技(34競技、※昨年25競技)

※参加点10点を除く。

【団体(5人以上)】	(得点)	【団体(2~4人)】	(得点)	【個人】	(得点)
・ホッケー	144.0	・カヌー	103.0	・スケート	105.0
・剣道	134.0	・ボート	60.0	・空手道	84.5
・体操	70.0	・なぎなた	57.0	・スキー	43.0
・ソフトボール	64.0	・山岳	54.0	・レスリング	42.0
・バレーボール	60.0	・弓道	48.0	・ウエイトリフティング	39.0
・バスケットボール	27.5	・フェンシング	45.0	・自転車	39.0
・ハンドボール	25.0	・セーリング	42.0	・陸上競技	37.0
・ソフトテニス	25.0	・アーチェリー	21.0	・ボクシング	30.0
・サッカー	20.0	・クレー射撃	21.0	・馬術	22.0
・軟式野球	16.0	・ライフル射撃	8.0	・水泳	2.0
・ラグビーフットボール	15.0	・柔道	7.5		
		・バドミントン	7.5		
		・ボウリング	6.0		

(5) 優勝者一覧 (冬季大会・本大会)

【冬季大会】 2 競技、 3 種目、 3 人 ※昨年の国体(2 競技、 2 種目、 2 人)
 【本大会】 10 競技、 17 種目、 29 人 ※昨年の国体(4 競技、 4 種目、 7 人)

No	競技	種別	種 目	優 勝 者
1	スケート	成年男子	ショートトラック 1,000m	村竹 啓恒 (岩手県体育協会)
2	スキー	成年男子B	スペシャルジャンプ	永井 健弘 (盛岡市役所)
3	スキー	少年男子	コンバインド	三ヶ田 泰良 (盛岡中央高校)
4	陸上競技	成年男子	10,000m競歩	高橋 英輝 (富士通)
5	ウエイトリフティング	成年男子	56kg級クリーン&ジャーク	艾 幸太 (岩手県スポーツ振興事業団)
6	ウエイトリフティング	成年男子	56kg級トータル	
7	ウエイトリフティング	成年男子	62kg級クリーン&ジャーク	内村 湧嬉 (岩谷堂高校 教)
8	なぎなた	少年女子	演技	武田 智摘 (盛岡二高) 山火 ゆか (一戸高)
9	フェンシング	成年男子	フルーレ	佐々木 慶将 (共輪自動車) 藤野 大樹 (岩手県体育協会) 工藤 伸也 (北上市役所)
10	ライフル射撃	成年女子	10mE7・ピストル(40発)	佐々木 千鶴 (盛岡西警察署)
11	山岳	少年男子	リード	山内 響 (盛岡南高校) 中島 大智 (盛岡南高校)
12	カヌースプリント	少年女子	カヤックシングル 500m	中前 いつき (不来方高校)
13	カヌースプリント	少年女子	カヤックシングル 200m	
14	レスリング	少年男子	フリー120kg級	大崎 滉祐 (種市高校)
15	レスリング	成年男子	グレコローマン66kg級	川瀬 克祥 (岩手県体育協会)
16	空手道	成年男子	個人組手重量級	石塚 将也 (盛岡市役所)
17	空手道	成年男子	個人形	在本 幸司 (ツクバ精密)
18	剣道	成年女子	団体	岡崎 千尋 (法政大学) 中村 優子 (陸上自衛隊岩手駐屯地) 千葉 実央 (さとう整形外科クリニック)
19	剣道	少年女子	団体	阿部 なるみ (盛岡南高校) 瀬戸 若葉 (盛岡南高校) 高橋 佑実 (盛岡南高校) 及川 杏樹 (盛岡南高校) 高野橋 香恋 (盛岡南高校)
20	剣道	成年男子	団体	菅野 隆介 (盛岡第四高校 教) 古館 将 (花巻南高校 教) 小田口 亨弘 (三井住友海上) 赤崎 竜一 (盛岡南高校 教) 下川 祐造 (岩手県警察学校)

(6) 入賞数(冬季大会含む) ※前回の国体(94種目 … 団体 25、個人 69)
172種目 … 団体 60、個人 112

5 入賞数過去との比較 (上段：入賞総数 カッコ内：団体入賞数 ※冬季大会からの通算)

	71回岩手	70回和歌山	69回長崎	68回東京	67回岐阜	66回山口	65回千葉	64回新潟	63回大分	62回秋田
1位	20 (6)	6 (2)	5 (1)	4 (1)	0 (0)	4 (0)	3 (1)	4 (1)	5 (0)	4 (0)
2位	16 (5)	7 (1)	5 (0)	8 (1)	5 (1)	4 (2)	2 (1)	7 (1)	4 (1)	1 (1)
3位	22 (11)	14 (4)	8 (0)	12 (3)	6 (1)	8 (4)	12 (1)	5 (1)	6 (1)	6 (0)
4位	20 (4)	11 (4)	7 (2)	5 (1)	4 (0)	5 (0)	6 (2)	5 (2)	6 (4)	5 (2)
5位	35 (19)	18 (6)	20 (5)	13 (4)	18 (7)	12 (1)	14 (5)	15 (4)	15 (3)	22 (11)
6位	19 (7)	12 (2)	10 (5)	12 (2)	10 (3)	4 (0)	2 (0)	9 (1)	9 (0)	7 (2)
7位	18 (5)	15 (5)	11 (2)	13 (4)	9 (1)	1 (0)	9 (2)	6 (1)	8 (4)	5 (0)
8位	22 (3)	11 (2)	5 (0)	4 (0)	12 (1)	9 (0)	11 (1)	8 (1)	9 (3)	6 (1)
計	172 (60)	94 (26)	71 (15)	71 (16)	64 (14)	47 (7)	59 (13)	59 (12)	62 (16)	56 (17)
競技数	34	25	20	21	19	14	19	18	20	21
順位	2	16	37	23	39	41	33	39	36	34

上位等の入賞数

1-4	78 (26)	38 (11)	25 (3)	29 (6)	15 (2)	21 (6)	23 (5)	21 (5)	21 (6)	16 (3)
5位	35 (19)	18 (6)	20 (5)	13 (4)	18 (7)	12 (1)	14 (5)	15 (4)	15 (3)	22 (11)
6-8	59 (15)	38 (9)	26 (7)	29 (6)	31 (5)	14 (0)	22 (3)	23 (3)	26 (7)	18 (3)

※得点対象外も含む。

6 東北各県の総合成績 (上段：順位 下段：得点 ※冬季大会からの通算)

(1) 天皇杯順位・得点

	71回岩手	70回和歌山	69回長崎	68回東京	67回岐阜	66回山口	65回千葉	64回新潟	63回大分	62回秋田
岩手	2 1,924.0	16 1,099.0	37 807.5	23 943.0	39 790.0	41 715.0	33 812.5	39 744.5	36 801.0	34 827.5
青森	40 759.5	40 722.5	43 758.5	34 840.0	40 770.5	29 913.5	29 880.0	34 803.5	28 933.0	32 868.0
秋田	37 817.5	38 774.5	42 769.0	39 774.5	36 814.0	19 971.0	28 881.5	30 868.0	23 991.5	1 2673.5
宮城	24 948.0	23 956.5	25 934.0	21 955.0	25 905.0	20 962.5	19 1036.5	15 1201.5	12 1230.5	13 1247.5
山形	26 929.0	36 801.5	30 870.0	19 974.5	28 883.0	42 713.0	36 788.5	27 898.5	38 779.5	33 853.5
福島	35 843.5	31 866.0	34 823.0	35 816.5	43 685.0	40 727.0	43 715.5	35 788.0	31 858.5	24 933.0

(2) 皇后杯順位・得点

	71回岩手	70回和歌山	69回長崎	68回東京	67回岐阜	66回山口	65回千葉	64回新潟	63回大分	62回秋田
岩手	2 981.0	16 598.0	33 450.0	27 483.0	40 408.0	39 390.0	37 427.5	44 371.0	35 453.0	44 359.5
青森	40 458.5	43 354.5	43 383.0	36 434.0	41 396.0	32 440.0	36 432.0	42 381.5	45 355.5	41 397.0
秋田	36 486.5	38 414.0	40 420.0	42 371.5	33 452.5	27 476.0	30 471.0	41 408.5	25 520.0	1 1148.0
宮城	26 558.0	22 537.0	23 495.5	24 493.5	26 482.5	24 494.5	25 507.5	17 563.0	16 613.0	13 620.0
山形	23 566.0	39 410.5	32 453.5	23 508.5	27 480.0	33 434.5	23 519.5	24 523.0	34 459.5	29 469.5
福島	31 519.5	35 430.5	29 471.5	34 445.0	44 363.0	40 387.0	44 365.5	37 421.5	36 429.5	20 546.0

7 国民体育大会における岩手県順位の推移

回数	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
開催年	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62
開催地	岩手	和歌山	鹿児島	千葉	茨城	三重	佐賀	青森	長野	宮崎	栃木	滋賀	島根	群馬	奈良	鳥取	山梨	沖縄
順位	1	7	9	13	20	22	29	11	19	21	23	19	16	25	15	23	20	28

回数	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
開催年	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
開催地	京都	北海道	福岡	石川	山形	徳島香川	愛知	福島	広島	大阪	神奈川	熊本	富山	宮城	高知	静岡	埼玉	岡山
順位	29	25	22	28	32	35	44	30	42	30	24	30	36	38	43	37	39	42

回数	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71
開催年	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
開催地	兵庫	秋田	大分	新潟	千葉	山口	岐阜	東京	長崎	和歌山	岩手
順位	34	34	36	39	33	41	39	23	37	16	2

8 東北各県の天皇杯順位の推移（最近10年）

回数	開催年	開催地	岩手	青森	秋田	宮城	山形	福島
62	H19	秋田	34	32	1	13	33	24
63	H20	大分	36	28	23	12	38	31
64	H21	新潟	39	34	30	15	27	35
65	H22	千葉	33	29	28	19	36	43
66	H23	山口	41	29	19	20	42	40
67	H24	岐阜	39	40	36	25	28	43
68	H25	東京	23	34	39	21	19	35
69	H26	長崎	37	43	42	25	30	34
70	H27	和歌山	16	40	38	23	36	31
71	H28	岩手	2	40	37	24	26	35

【優勝者写真】

【冬季大会(スケート競技)】

- ・ショートトラック(成年男子)
- ・村竹 啓恒 選手



【冬季大会(スキー競技)】

- ・スペシャルジャンプ(成年男子B)
- ・永井 健弘 選手



【冬季大会(スキー競技)】

- ・コンバインド(少年男子)
- ・三ヶ田 泰良 選手



【本大会(第1日目)】

- ・ウェイトリフティング競技(成年男子)
- ・艾 幸太 選手



【本大会(第1日目)】

- ・ウェイトリフティング競技(成年男子)
- ・内村 湧嬉 選手



【本大会(第2日目)】

- ・なぎなた競技(少年女子)
- ・山火 ゆか 選手、武田 智摘 選手



【本大会(第3日目)】

- ・フェンシング競技(成年男子)
- ・佐々木 慶将 選手、藤野 大樹 選手
工藤 伸也 選手



【本大会(第4日目)】

- ・ライフル射撃競技(成年女子)
- ・佐々木 千鶴 選手



【本大会(第7日目)】

- ・山岳競技(少年男子)
- ・山内 響 選手、中島 大智 選手



【本大会(第8日目・10日目)】

- ・カヌー競技(少女女子)
- ・中前 いつき 選手



【本大会(第8日目)】

- ・レスリング競技(少年男子)
- ・大崎 滉祐 選手



【本大会(第8日目)】

- ・空手道競技(成年男子)
- ・石塚 将也 選手



【本大会(第8日目)】

- ・剣道競技(成年女子)
- ・岡崎 千尋 選手、中村 優子 選手
千葉 実央 選手



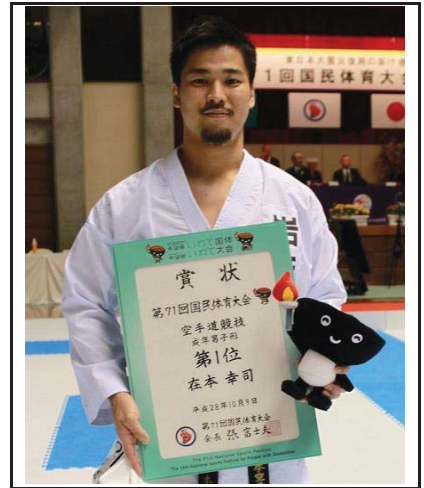
【本大会(第9日目)】

- ・陸上競技(成年男子)
- ・高橋 英輝 選手



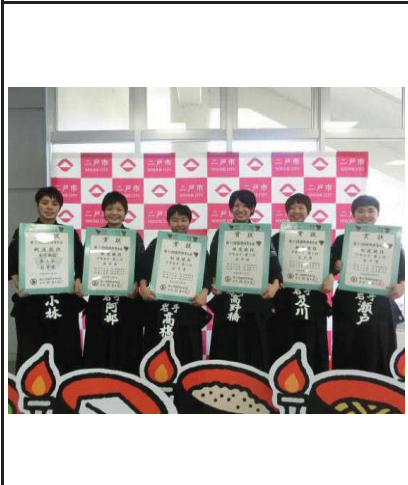
【本大会(第9日目)】

- ・空手道競技(成年男子)
- ・在本 幸司 選手



【本大会(第9日目)】

- ・剣道競技(少年女子)
- 阿部 なるみ 選手、瀬戸 若葉 選手
高橋 佑実 選手、及川 杏樹 選手
高野橋 香恋 選手



【本大会(第10日目)】

- ・レスリング競技(成年男子)
- ・川瀬 克祥 選手



【本大会(第10日目)】

- ・剣道競技(成年男子)
- 菅野 隆介 選手、古館 将 選手
小田口 亨弘 選手、赤岩 竜一 選手
下川 祐造 選手



議案第21号

岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則

岩手県立高等学校の管理運営に関する規則（昭和32年岩手県教育委員会規則第3号）の一部を次のように改正する。

改正前							改正後								
別表第1 高等学校の全日制の課程、定時制の課程及び通信制の課程の学級編制（第3条関係）							別表第1 高等学校の全日制の課程、定時制の課程及び通信制の課程の学級編制（第3条関係）								
学校名	区分	全日制の課程		定時制の課程		通信制の課程		学校名	区分	全日制の課程		定時制の課程		通信制の課程	
		学科名	学級数	学科名	学級数	学科名	学級数			学科名	学級数	学科名	学級数		
[略]							[略]								
岩手県立花泉高等学校		普通科	<u>4</u>	[略]				岩手県立花泉高等学校		普通科	<u>3</u>	[略]			
[略]							[略]								
岩手県立大槌高等学校		普通科	<u>9</u>	[略]				岩手県立大槌高等学校		普通科	<u>8</u>	[略]			
[略]							[略]								
岩手県立伊保内高等学校		普通科	<u>6</u>	[略]				岩手県立伊保内高等学校		普通科	<u>5</u>	[略]			
[略]							[略]								
[略]							[略]								
備考 改正部分は、下線の部分である。															

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

平成28年10月17日提出

岩手県教育委員会教育長 高橋 嘉行

理由

県立高等学校の学級数を改めようとするものである。これが、この規則案を提出する理由である。

岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則案要綱

第1 改正の趣旨

県立高等学校の学級数を改めようとするものである。

第2 規則案の内容

県立高等学校の学級数を次のとおり改めること。(別表第1関係)

学校名	区 分	課 程	学科名	学級数	
				現 行	改 正
岩手県立花泉高等学校		全日制	普通科	4	3
岩手県立大槌高等学校		全日制	普通科	9	8
岩手県立伊保内高等学校		全日制	普通科	6	5

第3 施行期日

この規則は、平成29年4月1日から施行すること。(附則関係)

議案第22号

平成29年度岩手県教育委員会定期人事異動方針の臨時専決処理に関し承認を求めることについて

次のとおり平成28年10月3日臨時専決処理したから、承認を求める。

平成29年度岩手県教育委員会定期人事異動方針

東日本大震災津波からの教育の本格復興に向けた取組を推進するとともに、「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成という教育目的の実現に向けて、「いわて県民計画」及び「岩手の教育振興」に掲げる主要施策を積極的に展開するため、次に掲げるところにより教職員の意欲と能力を重視した人事配置を行い、もって組織能力の一層の向上を図るものとする。

また、複雑・多様化している学校教育の課題に対応し、「次世代の学校」の創生の実現に向け、組織として教育活動に取り組む体制を創り上げていくことが求められているところであり、所属長のリーダーシップによるマネジメント機能の強化や、学校や教職員が心理や福祉等の専門スタッフと連携する「チーム学校」体制の整備の観点にも配慮していくこととする。

1 東日本大震災津波からの教育の復興への対応

東日本大震災津波からの教育の本格復興に向けた取組を推進するため、地域の実情やニーズに配慮するとともに、防災教育をはじめとする「いわての復興教育」等を着実に推進するための適材適所の人事配置に努める。

2 本県の重要施策の推進

児童生徒の学力向上、いじめ、不登校問題など学校教育における課題により力を入れて取組を進めるとともに、社会教育の充実や家庭教育の支援、文化財の適切な保存、学校保健や学校体育の充実等、本県の重要施策を着実に推進するため、教職員が高い意欲を保ちつつ組織一体となってこれらの課題に取り組むことができるよう、適材適所の人事配置に努める。

3 地域や学校のニーズ等への対応

家庭・地域との協働による特色ある目標達成型の学校経営を推進することにより、各学校が地域や子どもの実態に即した創意工夫ある教育活動を行えるよう、地域や学校のニーズを踏まえた人事配置に努める。

4 管理職の役割の重視

学校経営においては、管理職のリーダーシップが重要であることから、管理職の任用については、以下のとおり行う。

- (1) 管理職に相応しい人格、識見を特に重視するとともに、年齢や経験年数にとらわれることなく、指導能力、組織運営能力、実績について総合的に評価し登用する。
- (2) 管理職の在職期間については、学校経営の安定化の視点に配慮する。

5 組織能力及び個々の職員のモチベーションの向上に向けた人事配置

- (1) 所属長のヒアリングにおいては、個々の教職員について、今後従事したい業務に係る希望、適性、現在の職務の遂行状況及び健康状態、家庭事情等についてもできるだけきめ細かく聴き取ることとし、人事配置に当たっては、それらの事情を踏まえ、個々の教職員のモチベーションの向上に努めることとする。
- (2) 各所属の職員構成については、年齢、経験年数等の適切なバランスに配慮する。
また、全県的視野から地域ごとの職員構成についても適切なバランスに配慮することとし、特に、県北・沿岸地区やへき地等の職員体制の一層の充実に努める。
- (3) 主幹教諭、指導教諭又は指導養護教諭については、学校において多様化・複雑化する諸課題に組織的・機動的に対応し、その役割がより一層効果的に発揮されるよう、学校規模等を総合的に考慮しながら配置する。
- (4) 小中学校事務の共同実施体制の機能強化を図り、学校経営の充実に資するため、平成28年度新設した「事務長」の職の効果、課題を検証し、段階的な配置拡大を進めていくこととする。
- (5) 事務局と学校との異動、職種間及び校種間での異動を行うとともに、他の任命権者との間での人事交流を行う。また、主任等以下の若手事務職員については、ジョブローテーションに基づき、人材の育成と適性の把握が図られるよう配慮する。

6 その他

公的年金の報酬比例部分の支給開始年齢の引上げ（平成25年度以後60歳から65歳へと段階的に引上げ）に伴う雇用と年金の接続については、再任用制度の適切な運用により対応するよう配慮する。

平成28年10月17日提出

岩手県教育委員会教育長 高橋嘉行

理由

平成29年度岩手県教育委員会定期人事異動方針の臨時専決処理について承認を求めようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

岩手県教育委員会定期人事異動方針新旧対照表

平成 28 年度	平成 29 年度
<p data-bbox="164 181 715 215"><u>平成 28 年度岩手県教育委員会定期人事異動方針</u></p> <p data-bbox="92 264 786 539">東日本大震災津波からの教育の本格復興に向けた取組を推進するとともに、「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成という教育目的の実現に向けて、「いわて県民計画」及び「岩手の教育振興」に掲げる主要施策を積極的に展開するため、次に掲げるところにより教職員の意欲と能力を重視した人事配置を行い、もって組織能力の一層の向上を図るものとする。</p> <p data-bbox="97 875 667 907">1 東日本大震災津波からの教育の復興への対応</p> <p data-bbox="118 913 786 1070">東日本大震災津波からの教育の本格復興に向けた取組を推進するため、地域の実情やニーズに配慮するとともに、防災教育をはじめとする「いわての復興教育」等を着実に推進するための適材適所の人事配置に努める。</p> <p data-bbox="97 1120 408 1151">2 本県の重要施策の推進</p> <p data-bbox="118 1158 786 1440">児童生徒の学力向上、いじめ、不登校問題など学校教育における課題の取組を進めるとともに、社会教育の充実や文化芸術の振興、「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」に向けた取組などの豊かなスポーツライフの振興等、本県の重要施策を着実に推進するため、教職員が高い意欲を保ちつつ組織一体となってこれらの課題に取り組むことができるよう、適材適所の人事配置に努める。</p> <p data-bbox="97 1487 512 1518">3 地域や学校のニーズ等への対応</p> <p data-bbox="118 1525 786 1682">家庭・地域との協働による特色ある目標達成型の学校経営を推進することにより、各学校が地域や子どもの実態に即した創意工夫ある教育活動を行えるよう、地域や学校のニーズを踏まえた人事配置に努める。</p> <p data-bbox="97 1729 383 1760">4 管理職の役割の重視</p> <p data-bbox="118 1767 786 1888">学校経営改革等を進めるためには、管理職のリーダーシップが重要であることから、管理職の任用については、以下のとおり行う。</p> <p data-bbox="118 1895 786 2013">(1) 管理職に相応しい人格、識見を特に重視するとともに、年齢や経験年数にとらわれることなく、指導能力、組織運営能力、実績について総合的に評価し、登用する。</p>	<p data-bbox="879 181 1437 215"><u>平成 29 年度岩手県教育委員会定期人事異動方針</u></p> <p data-bbox="810 264 1505 539">東日本大震災津波からの教育の本格復興に向けた取組を推進するとともに、「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成という教育目的の実現に向けて、「いわて県民計画」及び「岩手の教育振興」に掲げる主要施策を積極的に展開するため、次に掲げるところにより教職員の意欲と能力を重視した人事配置を行い、もって組織能力の一層の向上を図るものとする。</p> <p data-bbox="810 546 1505 826"><u>また、複雑・多様化している学校教育の課題に対応し、「次世代の学校」の創生の実現に向け、組織として教育活動に取り組む体制を創り上げていくことが求められているところであり、所属長のリーダーシップによるマネジメント機能の強化や、学校や教職員が心理や福祉等の専門スタッフと連携する「チーム学校」体制の整備の観点にも配慮していくこととする。</u></p> <p data-bbox="815 875 1385 907">1 東日本大震災津波からの教育の復興への対応</p> <p data-bbox="836 913 1505 1070">東日本大震災津波からの教育の本格復興に向けた取組を推進するため、地域の実情やニーズに配慮するとともに、防災教育をはじめとする「いわての復興教育」等を着実に推進するための適材適所の人事配置に努める。</p> <p data-bbox="815 1120 1126 1151">2 本県の重要施策の推進</p> <p data-bbox="836 1158 1505 1440">児童生徒の学力向上、いじめ、不登校問題など学校教育における課題により力を入れて取組を進めるとともに、社会教育の充実や家庭教育の支援、文化財の適切な保存、学校保健や学校体育の充実等、本県の重要施策を着実に推進するため、教職員が高い意欲を保ちつつ組織一体となってこれらの課題に取り組むことができるよう、適材適所の人事配置に努める。</p> <p data-bbox="815 1487 1230 1518">3 地域や学校のニーズ等への対応</p> <p data-bbox="836 1525 1505 1682">家庭・地域との協働による特色ある目標達成型の学校経営を推進することにより、各学校が地域や子どもの実態に即した創意工夫ある教育活動を行えるよう、地域や学校のニーズを踏まえた人事配置に努める。</p> <p data-bbox="815 1729 1101 1760">4 管理職の役割の重視</p> <p data-bbox="836 1767 1505 1888">学校経営においては、管理職のリーダーシップが重要であることから、管理職の任用については、以下のとおり行う。</p> <p data-bbox="836 1895 1505 2013">(1) 管理職に相応しい人格、識見を特に重視するとともに、年齢や経験年数にとらわれることなく、指導能力、組織運営能力、実績について総合的に評価し登用する。</p>

<p>(2) <u>校長の在職期間については、学校経営に適切に取り組むことができるよう配慮する。</u></p> <p>5 組織能力及び個々の職員のモチベーションの向上に向けた人事配置</p> <p>(1) 所属長のヒアリングにおいては、個々の教職員について、今後従事したい業務に係る希望、適性、現在の職務の遂行状況及び健康状態、家庭事情等についてもできるだけきめ細かく聴き取ることとし、人事配置に当たっては、それらの事情を踏まえ、個々の教職員のモチベーションの向上に努めることとする。</p> <p>(2) 各所属の職員構成については、年齢、経験年数等のバランスに配慮する。</p> <p>(3) <u>全県的視野から均衡ある職員構成の形成に努める。特に、県北・沿岸地区やへき地、分校及び定時制について、一層の充実に努める。</u></p> <p>(4) <u>主幹教諭又は指導教諭については、学校において多様化・複雑化する諸課題に組織的・機動的に対応し、その役割がより一層効果的に発揮されるよう、学校規模等を総合的に考慮しながら配置する。</u></p> <p>(5) <u>小中学校事務の共同実施体制の機能強化を図り、学校経営の充実に資するため、共同実施組織を総括する「事務長」の職を新設し、その配置を段階的に進めることとする。</u></p> <p>(6) 事務局と学校との異動、職種間及び校種間での異動を行うとともに、他の任命権者との間での人事交流を行う。また、主任等以下の若手事務職員については、ジョブローテーションに基づき、人材の育成と適性の把握が図られるよう配慮する。</p> <p>6 その他</p> <p><u>平成25年度以降において公的年金の報酬比例部分の支給開始年齢が60歳から65歳へと段階的に引き上げられることに伴う雇用と年金の接続については、再任用制度の適切な運用により対応するよう配慮する。</u></p>	<p>(2) <u>管理職の在職期間については、学校経営の安定化の視点に配慮する。</u></p> <p>5 組織能力及び個々の職員のモチベーションの向上に向けた人事配置</p> <p>(1) 所属長のヒアリングにおいては、個々の教職員について、今後従事したい業務に係る希望、適性、現在の職務の遂行状況及び健康状態、家庭事情等についてもできるだけきめ細かく聴き取ることとし、人事配置に当たっては、それらの事情を踏まえ、個々の教職員のモチベーションの向上に努めることとする。</p> <p>(2) 各所属の職員構成については、年齢、経験年数等の適切なバランスに配慮する。</p> <p><u>また、全県的視野から地域ごとの職員構成についても適切なバランスに配慮することとし、特に、県北・沿岸地区やへき地等の職員体制の一層の充実に努める。</u></p> <p>(3) <u>主幹教諭、指導教諭又は指導養護教諭については、学校において多様化・複雑化する諸課題に組織的・機動的に対応し、その役割がより一層効果的に発揮されるよう、学校規模等を総合的に考慮しながら配置する。</u></p> <p>(4) <u>小中学校事務の共同実施体制の機能強化を図り、学校経営の充実に資するため、平成28年度新設した「事務長」の職の効果、課題を検証し、段階的な配置拡大を進めていくこととする。</u></p> <p>(5) 事務局と学校との異動、職種間及び校種間での異動を行うとともに、他の任命権者との間での人事交流を行う。また、主任等以下の若手事務職員については、ジョブローテーションに基づき、人材の育成と適性の把握が図られるよう配慮する。</p> <p>6 その他</p> <p><u>公的年金の報酬比例部分の支給開始年齢の引上げ（平成25年度以後60歳から65歳へと段階的に引上げ）に伴う雇用と年金の接続については、再任用制度の適切な運用により対応するよう配慮する。</u></p>
<p>変更理由</p>	<p>1 「次世代の学校」の創生の実現に向け、所属長のリーダーシップによるマネジメント機能の強化や、「チーム学校」体制の整備の観点に配慮することを明記すること（前文関係）</p> <p>2 重要施策の推進に項目を追加し、学校教育により力を入れることを明記すること（2関係）</p> <p>3 指導養護教諭の配置について定めること（5(3)関係）</p> <p>4 小中学校事務長の検証と配置の段階的拡大について定めること。（5(4)関係）</p> <p>5 その他所要の整理</p>